

## 18 朗読劇をしよう ～「いちご同盟」～

朗読劇をすることは、必然的に文章を何度も音読することになる。それによって日本語の文字、表記、語彙・語句、文の言い回しなどに慣れ親しみ、それらを自然に習得することができる。また、小説を台本化することで、文章展開を把握し、作品のテーマをとらえて主題を考えるとともに、表現者としてテキストを編み直す活動を行うことにもなる。何度も音読することを通して、心情や情景を豊かに想像できるようにしたい。さらにはそれを劇化することで、文章の展開を把握する力や文章の特徴をとらえて表現する力を育成することをねらう。

- 1 領域 読むこと
- 2 教材 「いちご同盟」（三田誠広 「新しい国語3」東京書籍）
- 3 目標 ・「いちご同盟」の朗読劇の台本を作り、役割を分担して朗読劇をすることを通して、文学表現に親しみ、叙述に即して展開を理解し、作品のテーマについて考えることができるようにする。
- 4 指導時間 5時間
- 5 指導形態 在籍学級での一斉指導
- 6 指導事項 ・言語スキル

領域	指導事項	言語スキル
読むこと	<b>【表現の仕方】</b> ・表現の仕方や文章の特徴に注意して読む。	・表現技巧に着目して読むことができる。 ・文末表現に注意して読むことができる。 ・人物の行動や言動、表情の描写に着目して心情を理解することができる。 ・情景を想像することができる。 ・文章表現の美しさ、豊かさ、楽しさを発見することができる。
言語事項	<b>【音声】</b> ・朗読する速度や音量、言葉の調子や間のとり方などに注意する。  <b>【語句】</b> ・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意する。	・音読してリズムをつかむことができる。 ・言葉の調子や間のとり方を意識して読むことができる。  ・文脈から言葉の意味を推測することができる。

## 7 指導計画

	学習活動	伸ばしたい言語スキル	学習支援・指導・学習材
1 次 2 時 間	<p>○「いちご同盟」のあらすじを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朗読CDを聞いて話の内容を知る。</li> <li>登場人物やその関係それぞれの性格を整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朗読を聞くことができる。</li> <li>話の内容の大体をつかむことができる。</li> <li>登場人物やその関係を把握することができる。</li> <li>文脈に即して性格を想像することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朗読CDの活用</li> <li>穴埋めプリントの活用</li> <li>人物関係図を書かせる。</li> <li>場面分けや登場人物の理解に関するワークシートを工夫する。</li> <li>★必要に応じて教科書やワークシートにルビを振る。</li> </ul>
2 次 2 時 間	<p>○グループごとに朗読台本を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いながら役割分担を決める。</li> <li>読む練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面展開を考え、朗読表現の工夫について話し合うことができる。</li> <li>自分の分担部分の場面の様子や登場人物の心情を想像して読み方を工夫することができる。</li> <li>人物の行動や言動等の描写に着目して読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでの話し合いに参加させる。</li> <li>★力に応じて分担する場面を工夫し、朗読に参加させる。</li> <li>読み方を工夫させる。</li> </ul>
3 次 1 時 間	<p>○発表会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朗読の表現の工夫について聞き味わうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間とともに学ばせる。</li> </ul>